

中国文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	開講曜日・講時	平成30年度以前入学 者 読替先授業科目
中国文学概論	中国古典詩歌文学史	2	矢田 尚子	3	前期 木曜日 1講時	
中国文学概論	中国の小説と戯曲	2	土屋 育子	4	後期 木曜日 1講時	
中国文学基礎講読	中国語実用文法研究	2	土屋 育子	3	前期 水曜日 4講時	
中国文学基礎講読	現代文読解による中国 語実用文法研究	2	矢田 尚子	4	後期 水曜日 4講時	
中国語基礎演習	初級中国語	2	張 佩茹	3	前期 火曜日 5講時	
中国語基礎演習	初級中国語	2	張 佩茹	4	後期 火曜日 5講時	
中国文学各論	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	5	前期 火曜日 4講時	
中国文学各論	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	6	後期 火曜日 4講時	
中国文学各論	中国中世における文学 の質的転換に関わる研 究	2	柳川 順子	集中	集中講義	
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	5	前期 水曜日 3講時	
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	6	後期 水曜日 3講時	
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	5	前期 金曜日 2講時	
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	6	後期 金曜日 2講時	
中国語学演習	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	5	前期 木曜日 2講時	中国文学演習
中国語学演習	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	6	後期 木曜日 2講時	中国文学演習

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB34101, 科目ナンバリング：LHM-LIT202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国古典詩歌文学史

2. Course Title (授業題目)：History and development of Classical Chinese poetry

3. 授業の目的と概要：【目的】

1. 中国の先秦時代から唐代に到るまでの古典詩を読み、理解を深める。

2. 同時に、いわゆる「漢文」の構造や訓読法、古体詩と近体詩の違い、近体詩の格律（きまり・法則）など、基本知識をおさえる。

【概要】

中国文学の中でも、特に先秦から唐代までの古典詩歌文学に焦点を絞り、時代・ジャンルごとに重要事項について学習する。実際に代表的な作品を実際に読み、その内容を理解する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：【Course Objectives】

1. In this course, students read poetry from Pre-Qin to Song dynasty to acquire knowledge of Chinese classical literature.

2. At the same time, students grasp the fundamentals of classical Chinese literature such as the construction of classical Chinese writings, differences between archaic style poetry (Gu ti shi) and new style poetry (Jin ti shi), and their rules.

【Course Synopsis】

This course focus on poetry from Pre-Qin to Song dynasty era. The lecturer explains important issues according to era or genre, students actually read the representative poetry and understand the contents.

5. 学修の到達目標：・中国古典詩歌文学に関する基礎知識を身につける。

・中国古典詩歌のジャンルや修辞等の歴史的変遷について理解できるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：・Students will acquire fundamental knowledge of Chinese classical literature.

・Students will be able to understand historical transition of genres or rhetoric of Chinese classical poetry.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション

2. 『詩経』(1)

3. 『詩経』(2)

4. 『楚辞』(1)

5. 『楚辞』(2)

6. 漢代の詩(1)

7. 漢代の詩(2)

8. 魏晋の詩(1)

9. 魏晋の詩(2)

10. 南北朝の詩(1)

11. 南北朝の詩(2)

12. 初唐の詩

13. 盛唐の詩

14. 中唐の詩

15. 晩唐の詩

8. 成績評価方法：

授業に対する参加姿勢(30%)と課題提出(20%)及び最終レポート(50%)による。

9. 教科書および参考書：

教科書は用いず、毎回配布する資料による。

参考書は、授業中に適宜紹介する。

Materials will be handed out at every class.

References to further readings will be made in classes.

10. 授業時間外学習：授業中に示した参考文献に目を通し、授業で得た知識を補い、作品をより深く広く理解する力をつけること。

Students are required to read the references given in classes to supplement the knowledge and deepen understanding about Chinese classical literature.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB44101, 科目ナンバリング：LHM-LIT202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国の小説と戯曲

2. Course Title (授業題目)：Chinese Novel and Drama

3. 授業の目的と概要：中国の小説・戯曲は、伝統詩文との関わりを保ちつつ、豊かな発展を遂げてきました。本講義では、「小説」と戯曲の起源を理解し、歴史的社会的背景をもとに中国の小説・戯曲がどのように発展してきたのかを、原文資料をもとに学びます。

授業を通して、受講生の中国の小説と戯曲に対する基礎知識の再確認と理解を深めることを主たる目的とします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will understand the origin of Chinese classical novel and drama, learn about changes Chinese classical novel and drama have undergone, based on historical and social background, using the original text.

The main purpose of this course is to review basic knowledge and understand Chinese classical novel and drama.

5. 学修の到達目標：(1) 中国文学史(小説・戯曲)について知識を深める。

(2) 中国の小説・戯曲の特徴を多角的に考察し、自分の言葉でまとめられる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students better understand Chinese literature history (classical novel and drama) .

2. Students consider the features of Chinese classical novel and drama from diversified standpoints, and describe them in their own words.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

資料を用いて、作品の成立までの背景、作者、概要等のポイントを解説し、原文を付した現代日本語訳によって作品を鑑賞します。(以下のトピックは、多少変更する場合があります。)

受講生には、配布された資料を読み、資料に関わる課題を提出することを求めます。

第1回 ガイダンス

第2回 志怪小説・志人小説

第3回 唐代伝奇

第4回 唐末から宋元への展開

第5回 宋から元の演劇

第6回 元の演劇と明初の短篇文言小説

第7回 『三国志演義』(1)

第8回 『三国志演義』(2)

第9回 『水滸伝』(1)

第10回 『水滸伝』(2)

第11回 『西遊記』

第12回 『金瓶梅』

第13回 明末清初の戯曲と短篇白話小説集

第14回 『聊齋志異』

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：30%

課題(レポート)：70%

9. 教科書および参考書：

テキスト：資料配布

参考書：授業中に紹介

10. 授業時間外学習：配布する資料だけでなく、授業中に紹介する参考書等を積極的に読み、講義内容の理解を深めるようにしてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

Semester : 3 単位数 : 2

担当教員：土屋 育子

コード：LB33403, 科目ナンバリング：LHM-LIT213J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目) : Chinese Grammar

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国語学習歴半年以上の学生が、中国語のリスニング、作文、スピーキングなどの演習を通して、中国語によるコミュニケーション能力・表現能力の向上を目指します。(中国語未履修の方は、事前にご相談ください。)なおこの授業は、講読演習を兼ねています。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course aims to improve the students' ability to communicate and express their thoughts in Chinese, through various activities involving exercises in listening, writing, speaking, and so on.

5. 学修の到達目標：(1) 現代中国語の文法について基礎的な事項を理解する。

(2) 基礎的な作文能力をつける。

(3) 基礎的な読解力を確実なものとする。

(4) 中国語の発音をブラッシュ・アップする。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : 1. Students understand Chinese basic grammar.

2. Students gain basic writing skills.

3. Students develop basic reading skills.

4. Students brush up basic speaking skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業では教科書を使用し、以下のように進めていきます。

受講者には毎回の授業後に、課題の提出を求めます(提出方法は別途指示します)。

第一回 ガイダンス

第二回 第1課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第三回 第2課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第四回 第3課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第五回 第4課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第六回 第5課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第七回 第6課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第八回 前半のまとめと試験

第九回 第7課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十回 第8課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十一回 第9課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十二回 第10課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十三回 第11課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十四回 第12課 発音、文法説明、翻訳、問題演習

第十五回 後半のまとめと試験

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

定期試験：50% (前半のまとめと後半のまとめの2回分)

9. 教科書および参考書：

教科書：李貞愛「日中ふれあい“漢語”教室」朝日出版社

辞書：小学館『中日辞典』『日中辞典』、または、講談社『中日辞典』『日中辞典』などをおすすめします。

10. 授業時間外学習：毎回、辞書を用いた予習・復習を求めます。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

Semester : 4 単位数 : 2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB43404, 科目ナンバリング：LHM-LIT213J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代文読解による中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目) : Study of Chinese Grammar through reading Chinese Contemporary Prose

3. 授業の目的と概要：【目的】中国語学習歴 1 年以上の受講生を対象に、中国語のより高度な読解能力を身につけてもらうことを目的として開講します。

【概要】現代中国語で書かれた随筆や短編小説を取り上げて精読します。それを通して、受講生が、これまでに学んできた中国語の基礎的な文法事項について再確認し、中国文化への理解を深めるとともに、中国語発音のブラッシュアップができるよう促します。授業ではテキストを輪番で音読し、読解しますので、受講生の十分な予習が求められます。なお、この授業は、中国語の講読演習を兼ねています。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : 【Course Objectives】

This course aims to further improve the students' ability to read contemporary Chinese texts.

【Course Synopsis】

In this course, students read essays or short stories written in modern Chinese. Through reading, students review basic Chinese grammar, deepen knowledge about Chinese culture, and improve Chinese pronunciation. In every class, students are required to read aloud and translate the text into Japanese, therefore sufficient preparation is important.

5. 学修の到達目標：①現代中国語で書かれた随筆文や短編小説を、辞書を使いながら読んで理解し、適切な日本語に訳すことができる。

②現代中国語の文法についての高度な知識を習得し、文章の文構造を把握できる。

③現代中国語で書かれた文章を正しい発音で音読することができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : ①Students will be able to read essays or short stories written in modern Chinese and translate them in accurate Japanese by using dictionary.

②Students will acquire further knowledge about Chinese grammar, and be able to grasp the grammatical constructions of Chinese texts.

③Students will pronounce Chinese texts correctly.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 中国現代文読解 (1)

3. 中国現代文読解 (2)

4. 中国現代文読解 (3)

5. 中国現代文読解 (4)

6. 中国現代文読解 (5)

7. 中国現代文読解 (6)

8. 中国現代文読解 (7)

9. 中国現代文読解 (8)

10. 中国現代文読解 (9)

11. 中国現代文読解 (10)

12. 中国現代文読解 (11)

13. 中国現代文読解 (12)

14. 中国現代文読解 (13)

15. 中国現代文読解 (14)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 (発音・翻訳・応答などを含む) により総合的に判断する。

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

The materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：単語の発音や意味を調べ、文構造や文法事項に留意しながら試訳文を作成する。

復習：主要な単語や文を暗記し、文構造を正しく理解できるようにする。

Preparation: Students are required to look up pronunciation and meaning of words in dictionary, translate the texts into Japanese with careful attention to grammatical constructions.

Review: Students are required to memorize important words and sentences and understand grammatical construction of texts.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

semester：3 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB32502, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：初級中国語

2. Course Title (授業題目)：Mandarin Chinese for Beginners

3. 授業の目的と概要：この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。まず、中国語の発音と表記法（ピンイン）を習得する。発音練習を繰り返すことによって、記号と実際の発音との結びつきを定着させる。次に、日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。この授業を通じて、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく習得することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for students who learn Mandarin Chinese for the first time. It covers pronunciation and basic grammar of Mandarin Chinese, which will serve as a foundation for further learning. First of all, students learn how to pronounce Mandarin Chinese by using the transcription system known as Pinyin. By repeating the pronunciation, students learn to recognize the relation between sounds and the alphabets used in the Pinyin system. After that, students learn basic vocabulary words and grammar that are related to their daily life. In this course, students acquire the ability to listen, speak, read and write in Mandarin Chinese.

5. 学修の到達目標：1. 中国語の発音を弁別でき、ピンインの表記を熟知する。

2. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) Students will be able to differentiate various sounds in Mandarin Chinese and familiarize themselves with the Pinyin system.

(2) Students will learn basic vocabulary words and grammar and be able to carry out simple daily conversations in Chinese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>

テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

<進度予定>

第1回 オリエンテーション、発音（1）

第2回 発音（2）

第3回 第1課 はじめまして

第4回 第2課 とてもおいしいです

第5回 第3課 うどんを食べたことがありますか

第6回 第4課 彼女は今年 20 歳です

第7回 第5課 お子さんは何人いらっしゃいますか

第8回 第6課 うちが駅の近くにいます

第9回 第7課 お茶をどうぞ

第10回 第8課 そのうち一緒に食べに行きましょう

第11回 第9課 浅草寺に行ってみたいです

第12回 第10課 どこで買ったのですか

第13回 第11課 電車にしますかそれとも地下鉄にしますか

第14回 第12課 私は福建省から来たんです

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60%（授業態度、小テストなど）

期末試験：40%（口頭および筆記）

9. 教科書および参考書：

<教科書>『中国語で伝えよう』楊凱榮・張麗群著、朝日出版社、2019 年

<参考書>『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019 年

10. 授業時間外学習：予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声は正確に聞き取れるまで、CD を繰り返し聞くこと。また、音読の練習も 3 回以上すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB42503, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：初級中国語

2. Course Title (授業題目)：Mandarin Chinese for Beginners

3. 授業の目的と概要：この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。

前期で習得した中国語の発音と基礎文法を踏まえて、日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。

この授業を通じて、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく習得することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for students who learn Mandarin Chinese for the first time. It covers pronunciation and basic grammar of Mandarin Chinese, which will serve as a foundation for further learning. Based on the pronunciation and basic grammar that they learned in the previous semester, students learn more basic vocabulary words and grammar that are related to their daily life this semester. In this course, students acquire the ability to listen, speak, read and write in Mandarin Chinese.

5. 学修の到達目標：1. 中国語の音を聞いて、正確にピンインで書き取れる。

2. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) Students will be able to dictate sounds accurately in Pinyin.

(2) Students will learn basic vocabulary words and grammar and be able to carry out simple daily conversations in Chinese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

＜授業内容・方法＞

テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

＜進度予定＞

第1回 発音と文法の復習

第2回 第1 3課 ちょうどおなかが空いていたところ

第3回 第1 4課 一足いくらですか

第4回 第1 5課 体調が悪いのですか

第5回 第1 6課 何をしていますか

第6回 第1 7課 中国語を少し教えていただけますか

第7回 これまでの学習の復習

第8回 第1 8課 私にも一冊買ってください

第9回 第1 9課 鶴を折るのがうまいですね

第1 0回 第2 0課 箱根はすごくきれいだそうですね

第1 1回 第2 1課 もう食べられません

第1 2回 第2 2課 雨が降るのでしょうか

第1 3回 第2 3課 お医者さんが家で数日休むように言った

第1 4回 第2 4課 明日はもう皆さんとお別れです

第1 5回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60% (課題、小テストなど)

期末試験：40% (口頭および筆記)

9. 教科書および参考書：

＜教科書＞『中国語で伝えよう』楊凱榮・張麗群著、朝日出版社、2019 年

＜参考書＞『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019 年

1 0. 授業時間外学習：予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声が正確に聞き取れるまで、CD を繰り返し聞くこと。また、音読の練習も 3 回以上すること。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB52402, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語の諸相
2. Course Title (授業題目)：Various Aspects of Modern Mandarin Chinese
3. 授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。まず、現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえで、テーマ別の研究論文の精読を通して、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to enhance students' understanding of the linguistic characteristics of modern Mandarin Chinese. At first, students are required to read an overview of modern Mandarin Chinese, and then by reading research papers that deal with different aspects of modern Mandarin Chinese, students learn about the essential concepts and structures in this language as well as learn how to ask appropriate research questions and the possible ways of research in Chinese linguistics.
5. 学修の到達目標：①中国語の論文を正確に読み解く能力を身につける。
②中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will be able to read research papers written in Chinese accurately.
②Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
＜授業内容・方法＞基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。
＜進度予定＞
第1回 ガイダンス
第2回 現代中国語の概説 (一)
第3回 現代中国語の概説 (二)
第4回 現代中国語の概説 (三)
第5回 現代中国語の概説 (四)
第6回 研究論文1 (一)
第7回 研究論文1 (二)
第8回 研究論文1 (三)
第9回 研究論文1 (四)
第10回 研究論文2 (一)
第11回 研究論文2 (二)
第12回 研究論文2 (三)
第13回 研究論文2 (四)
第14回 研究論文2 (五)
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：
授業への取り組み：50%
課題：50%
9. 教科書および参考書：
＜教科書＞プリントを配布する。
＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995 年
10. 授業時間外学習：予習：プリントの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。
復習：プリントや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

Semester : 6 単位数 : 2

担当教員：張 佩茹

コード：LB62402, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語の諸相
2. Course Title (授業題目) : Various Aspects of Modern Mandarin Chinese
3. 授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。まず、現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえで、テーマ別の研究論文の精読を通して、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course aims to enhance students' understanding of the linguistic characteristics of modern Mandarin Chinese. At first, students are required to read an overview of modern Mandarin Chinese, and then by reading research papers that deal with different aspects of modern Mandarin Chinese, students learn about the essential concepts and structures in this language as well as learn how to ask appropriate research questions and the possible ways of research in Chinese linguistics.
5. 学修の到達目標：①中国語の論文を正確に読み解く能力を身につける。
②中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : ①Students will be able to read research papers written in Chinese accurately.
②Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
＜授業内容・方法＞基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。
＜進度予定＞
第1回 ガイダンス
第2回 研究論文3 (一)
第3回 研究論文3 (二)
第4回 研究論文3 (三)
第5回 研究論文3 (四)
第6回 研究論文4 (一)
第7回 研究論文4 (二)
第8回 研究論文4 (三)
第9回 研究論文4 (四)
第10回 研究論文5 (一)
第11回 研究論文5 (二)
第12回 研究論文5 (三)
第13回 研究論文5 (四)
第14回 研究論文5 (五)
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：
授業への取り組み：50%
課題：50%
9. 教科書および参考書：
＜教科書＞プリントを配布する。
＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995 年
10. 授業時間外学習：予習：プリントの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。
復習：プリントや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：柳川 順子

コード：LB98829, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世における文学の質的転換に関わる研究
2. Course Title (授業題目) : Research on the Qualitative Transformation of Literature in Medieval China
3. 授業の目的と概要：三国魏の時代（西暦3世紀）は、歴史上、古代から中世への移行期に当たっているが、文学においても大きな質的変容が認められる。では、その変質とは具体的にどのようなものか。また、それは何に由来するものなのか。この時期を代表する文人、曹植の作品を精読しながら、この問題について検討したい。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : The Wei (魏) dynasty of the Three Kingdoms (3rd century A.D.) was a period of transition from ancient to medieval times in history, and literature underwent a major transformation during this period. What kind of change was this? And what were the causes? We would like to examine this question through a close reading of the works of Cao Zhi (曹植), a representative literary figure of this period.
5. 学修の到達目標：作者が生きた時代の言語感覚に基づいて、作品を適切に読解できること。その精読に基づいて、作品を解釈できること。この二つを到達目標とする。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : To be able to perform a close reading of a work based on the linguistic sensibilities of the period in which the author lived. To be able to interpret a work based on such a close reading. These are the two goals of this class.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - I. 曹植文学と漢代宴席文芸
曹植の文学が、漢代宴席文芸の展開上に生まれたものであることを知る。
 - 1-1 曹植「七哀詩」(『文選』巻23)の精読
 - 1-2 漢代古詩の成立経緯
 - 2-1 曹植「箜篌引」(『文選』巻27)の精読
 - 2-2 漢代楽府詩の展開経緯
 - 3-1 曹植「三良詩」(『文選』巻21)の精読
 - 3-2 詠史詩の成立経緯
 - 4 曹植「鷓鴣賦」と漢代の通俗文芸
 - II. 曹植文学とその背景
曹植の文学は、彼の境遇を知ってこそ読解できるということを知る。
 - 1-1 曹植「雑詩六首」(『文選』巻29)の精読(1)
 - 1-2 曹植「雑詩六首」(『文選』巻29)の精読(2)
 - 2-1 曹植「贈丁廙」(『文選』巻24)の精読
 - 2-2 曹植「贈丁儀」(『文選』巻24)の精読
 - 2-3 曹植「野田黄雀行」(『楽府詩集』巻36)の精読
 - III. 魏晋における曹植文学の影響
曹植文学が、隣接する時代の文学に深い影響を及ぼしていることを知り、その理由を考察する。
 - 1 曹植「箜篌引」と阮籍「詠懷詩」(『文選』巻23)
 - 2 曹植「七哀詩」と晋楽所奏「怨詩行」(『宋書』巻21 樂志三)
 - IV. まとめ
中国文学史上に占める曹植文学の位置について考察する。
8. 成績評価方法：

授業に対する参加姿勢、及び最終レポートにより総合的に判断します。
9. 教科書および参考書：

胡刻本『李善注文選』。花房英樹『文選（詩騷編）』三・四（全釈漢文大系、集英社、1974年）、川合康三・富永一登・釜谷武志・和田英信・浅見洋二・緑川英樹訳注『文選（詩篇）』一～五（岩波文庫、2018～2019年）。黄節『曹子建詩註』、伊藤正文『曹植』（中国詩人選集、岩波書店、1958年）、趙幼文『曹植集校注』（人民文学出版社、1984年）、曹海東注訳・蕭麗華校閲『新訳曹子建集』（三民書局、2003年）、川合康三編訳『曹操・曹丕・曹植詩文選』（岩波文庫、2022年）。福井佳夫『六朝の遊戯文学』（汲古書院、20
10. 授業時間外学習：シラバスに提示する作品について、通釈、語釈、疑問点を発表資料にまとめておいてください。『文選』所収作品については、基本的に李善注によって解釈すること。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB53307, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。作品読解を通して中国古典文学の基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力の向上を目指します。授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。前期は、宋詞の代表的な作品を選んで読むことにします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read Song-ci Poetry.

5. 学修の到達目標：(1) 中国古典文の読解力を向上させる。

(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。

(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。

(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical Literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical Literature.

3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.

4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. ガイダンス

2. 発表と質疑応答 (1)

3. 発表と質疑応答 (2)

4. 発表と質疑応答 (3)

5. 発表と質疑応答 (4)

6. 発表と質疑応答 (5)

7. 発表と質疑応答 (6)

8. 発表と質疑応答 (7)

9. 発表と質疑応答 (8)

10. 発表と質疑応答 (9)

11. 発表と質疑応答 (10)

12. 発表と質疑応答 (11)

13. 発表と質疑応答 (12)

14. 発表と質疑応答 (13)

15. 発表と質疑応答 (14)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み (レジュメ提出含む)：50%

発表 (資料作成を含む)：50%

9. 教科書および参考書：

テキスト・資料等は、Google Classroom より配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書類やデータベース等を活用して、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を見るだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 3 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB63308, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。作品読解を通して中国古典文学の基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力の向上を目指します。授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。後期は、宋詞の代表的な作品を選んで読むことにします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read Song-ci Poetry.

5. 学修の到達目標：(1) 中国古典文の読解力を向上させる。

(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。

(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。

(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical Literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical Literature.

3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.

4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. ガイダンス

2. 発表と質疑応答 (1)

3. 発表と質疑応答 (2)

4. 発表と質疑応答 (3)

5. 発表と質疑応答 (4)

6. 発表と質疑応答 (5)

7. 発表と質疑応答 (6)

8. 発表と質疑応答 (7)

9. 発表と質疑応答 (8)

10. 発表と質疑応答 (9)

11. 発表と質疑応答 (10)

12. 発表と質疑応答 (11)

13. 発表と質疑応答 (12)

14. 発表と質疑応答 (13)

15. 発表と質疑応答 (14)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み（レジュメ提出含む）：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキスト・資料等は、Google Classroom より配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書類やデータベース等を活用して、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を見るだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 2講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB55205, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学修の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems. 復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB65205, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学修の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems. 復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国語学演習／

曜日・講時：前期 木曜日 2講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB54209, 科目ナンバリング：LHM-LIT319J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国文学演習】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主に指示性について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on referentiality in Mandarin Chinese this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply some of the basic research techniques when writing a report.

5. 学修の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>輪読形式で進める。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 指示性の関連論文1 (1)

第3回 指示性の関連論文1 (2)

第4回 指示性の関連論文1 (3)

第5回 指示性の関連論文1 (4)

第6回 指示性の関連論文2 (1)

第7回 指示性の関連論文2 (2)

第8回 指示性の関連論文2 (3)

第9回 指示性の関連論文2 (4)

第10回 指示性の関連論文3 (1)

第11回 指示性の関連論文3 (2)

第12回 指示性の関連論文3 (3)

第13回 指示性の関連論文3 (4)

第14回 指示性の関連論文3 (5)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書：

<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語学演習／

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB64206, 科目ナンバリング：LHM-LIT319J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：中国文学演習】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主に指示性について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on referentiality in Mandarin Chinese this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply some of the basic research techniques when writing a report.

5. 学修の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>輪読形式で進める。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 指示性の関連論文4 (1)

第3回 指示性の関連論文4 (2)

第4回 指示性の関連論文4 (3)

第5回 指示性の関連論文4 (4)

第6回 指示性の関連論文5 (1)

第7回 指示性の関連論文5 (2)

第8回 指示性の関連論文5 (3)

第9回 指示性の関連論文5 (4)

第10回 指示性の関連論文6 (1)

第11回 指示性の関連論文6 (2)

第12回 指示性の関連論文6 (3)

第13回 指示性の関連論文6 (4)

第14回 指示性の関連論文6 (5)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書：

<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：